



1. はじめに

奨励賞研究紹介文は、この「奨励賞研究紹介執筆要綱」に沿った提出であることとする。英文紹介文はこれに準拠する。なお、紹介文は全てグレースケールで印刷されるので、写真、図、表についてもグレースケールで作成する。

章見出しの前には空白行を 1 行入れる

2. 紹介文作成

2.1 仕上がり体裁

提出された紹介文は、オフセット印刷により A4 版用紙で縦長に印刷される。刷り上がり後の 1 頁は 2 段組とし、1 行 27 文字×49 行とする。

2.2 紹介文の長さ等

紹介文の頁数は 1 頁とする。

2.3 余白

余白は、上 30mm、下 25 mm、左右 15 mm、段組幅 10 mm とする。ただし、表題、著者、所属の部分の左右は 40 mm とする。

2.4 フォント

使用するフォントは、和文では各見出しに MSP ゴシック、他の本文等には MSP 明朝を使用する。英文では各見出しに Arial、他の本文等には Times New Roman を使用する。Windows 以外の OS を使用している場合は、上記に準じたフォントを使用する。

2.5 原稿の区切りと見出し

本文は章、節、項などに区切る。章と節の見出しはゴシック体太字を用い、他の見出しは明朝体を用いる。

章の見出し番号は半角文字で **1.**, **2.**, ... とし、見出しとともに行の中央に置き、章見出しの前に空白行を 1 行入れる。節の見出し番号は半角文字で **1.1**, **1.2**, ... とし、見出しとともに行の左に全角 1 文字または半角 2 文字分あけて書き、1 行取りとする。項の見出し番号は (1), (2), ... とし、見出しとともに行の左に全角 1 文字または半角 2 文字分あけて書き、1 行取りとする。さらに細分するときは著者の分類に委ねる。付録の見出し番号は、A1, A2, ... とし、さらに細分するときは、本文の細分に準拠する。見出し番号と見出しの間は半角 2 文字の空白を入れる。

2.6 文体

文体は左横書き、ひらがな、新仮名遣い、口語体とする。句読点は“、”と“。”を用いる。本文は書き出し、改行後の書き出しに全角 1 文字または半角 2 文字の空白を入れる。その他はすべて左端から書き始める。

3. 紹介文の構成

紹介文は以下の内容から構成される。

3.1 表題

和文表題または英文表題からなる。主要な英文単語の先頭は大文字とする。奨励賞研究紹介: に続けて表題を記載する。

3.2 著者と所属

著者名は、日本語表記または英語表記とする。姓と名の間には半角空白を入れる。

所属は学校名と学部名(または専攻名など)を記載する。学校名と学部名などの間には半角空白を入れる。

3.3 本文

本文は和文または英文とする。人を対象とする生命科学・医学系研究においては、本文内に倫理審査委員会の許諾について記載する。また動物を対象とした実験においては、動物実験委員会の許諾について記載する。許諾を得ている場合、申請番号や承認番号なども記載する。

3.4 図, 表, 写真

図(写真を含む)、表の番号はそれぞれ Fig. 1, Table 1 とし、表題は英文とする。図表番号と表題の間には、半角 2 文字分の空白をとる。図表の説明は英文とし、文字のサイズは 7~9 pt を用いる(Table 1)。表題が 1 行の場合はセンタリングし、2 行以上にわたる場合は両端揃えとする。本文で図表を参照する場合も Fig. 1, Table 1 と記載する。

3.5 数式, 単位

イタリック体、ギリシャ文字、分数式は、特殊な表示を除き、読みやすい記述をこころがける。単位は SI 単位系を原則とする。

(1) イタリック体(斜体)

数量または数値を表す記号はイタリック体またはギリシャ文字とする。

(2) ローマン体(正立体)

単位、関数名、数値は特殊なものを除きローマン体(正立体)とする。-(マイナス)表記は明確になるように Symbol フォント等を用いる。

(3) 分数式

分数式は原則として、

$$\frac{a}{b}, \frac{a+b}{c+d}$$

のように記述するが、簡単な数式や本文中に入れるときは、 a/b ,

Table 1 Example of the table

	Column header 1	Column header 2	Column header 3
Row header 1	Please	prepare	your
Row header 2	table	in	ENGLISH!

本文は 15 mm

段組幅 10 mm

(頁番号は、記載しないでください。)

25 mm

本文は 15 mm

(a + b) / (c + d) のように一行で記述する。

3.6 参考文献

参考文献として引用できるものは、公表された著作物に限る。

参考文献一覧は番号付き書式を用いるのが良い。著者が2名以上の場合は筆頭著者名のほかに“他”(和文の時)、“et al.”(英文の時)をつけて記述する。英文の First name 及び Middle name はイニシャルのみで示す。

雑誌名の略式名は当該分野で常用されているものを用いる。

(1) 雑誌の場合

文献番号) 著者, 表題. 雑誌名 発行年; 巻(号): 開始頁-終了頁. 以下に例を示す.

1) 著者 1 他, 論文執筆要綱. ライフサポート 2012; 24(5):

101-103.

2) F. Author et al., Instructions for Authors. Life Support 2012;

24(5): 101-103.

(2) 単行本の場合

文献番号) 著者, 書名. 版数. 発行所所在地: 発行所, 発行年.

(3) 分担執筆による単行本の場合

文献番号) 著者 1, ..., 分担表題: 編者 1, 書名. 版数: 章の題目. 発行所所在地: 発行所, 発行年: 開始頁-終了頁.

(4) 電子出版された論文の場合

文献番号) 著者 1, ..., 題目. 雑誌名. 発行年; 巻(号): 開始頁終了頁, DOI. [URL 名称], 参照: ○年○月○日. 英文の場合は cited: YYYY/MM/DD.

参考文献は引用箇所の右肩に¹⁾, ^{1,6)}, ³⁻⁸⁾のように通し番号で記述する。文節や文末などでは句読点の前に置く。

3.7 付録(ある場合のみ)

4. 奨励賞研究紹介の提出

紹介文データ(PDF および Word などの元ファイル), 奨励賞研究紹介確認票, 倫理審査に係る申告書(様式 E-2)を学会事務局 (publish-LS@jslst.net)まで E-mail にて送付する。メールの表題は”奨励賞研究紹介 学校名 氏名”とする。